

- ☆ 浜田助祭、宮内神学生、ネルソン神学生の計3名参加。
 - ☆ 大船教会から駐車申し込みあり。駐車スペース確保要。
 - ☆ 予算は一粒会
 - (2) 夏期学校(8月5日、6日; 8/5の午後1時からスタート)
 - ☆ 浜田、宮内さんが手伝いに来てくれる。内容は7/16につめる。
6. 営繕 G: 委員会後記を参照下さい。

■ 自由発言

1. 月定献金について: 委員会後記を参照下さい。
2. 「委員会後記ご意見箱」を7月2日(日)に設置した。
3. 来年度教会委員について: 任期(三ヵ年)が2007年1月で切れるため改選必要。本件種々議論あり。
4. 藤沢教会ガーデンパーティー: 8月5日(土)第五地区教会に案内
5. 講座関連
 - (1) 9/8 鈴木神父の聖書講座(入門クラス終了者が前提)
 - (2) 共同司牧 入門指導者コース江尻さんが参加
 - (3) 高野神父のクラス、中和田は岩崎さんが連絡係
6. 7/30は大和教会の神父様が司式
7. 9/1の初金ミサはお休み
8. ガーデン・ファーム・グループより3万円献金あり(光熱・水道代)
9. 神奈川県福音宣教司牧・典礼研修報告: 後記参照



06年7月委員会後記 委員長 下村 毅

I. 中和田教会の営繕計画について

中和田教会は昭和49年(1974年)の献堂で、老朽化が進んできています。2004年には(10月9日台風22号で)屋根瓦が割れる等の被害を受け、皆様の誠意ある特別献金・バザーの収益金などにより、聖堂・新集会室の外壁・屋根を補修いたしました。

しかし、内装関係の傷みも進んでおります。ざっと挙げてみます。

1. 聖堂内の劣化
 - ★聖堂天上壁紙のはがれ・ガラス窓のひび割れ★放送設備の充実★内陣の絨毯の汚れ★香部屋祭具入れ棚の改良(見えない・使い辛い)等
 2. 電気設備・配線の劣化
 - ★照明器具は、*裸電球であること*中央部分が照度不足であること*祭壇十字架の照度不足であること
 - ★電気回路・機器については、*食堂・応接室・香部屋回路容量不足(香部屋ストープ点灯不可能)である。*二階司祭室クーラーは故障中であること。
 3. 高齢者対策
 - ★バリアフリー(車椅子)への改善 *玄関・トイレ・新集会室・応接室入口
 - ★聖堂内に座りやすい椅子(旧マリア会より要望)
 - *一脚購入・四脚食堂より流用。(現在使い勝手を検証中)
 4. 床下塗装
 - ★アスベストの検査結果は問題なかったが、将来的にどのようにしていくのか。
 5. 中庭防災・安全
 - ★門扉の整備(改修が必要か)・中庭の水溜り排除をどうするか
- などがあります。
- これらの対応については、福島副委員長をチーフにプロジェクトチームを結成し、(現在更に)詳細を検討し、「優先順位の高い順」・「効率的に工事が進むもの」等を考えながら、改善を進めたいと考えます。

II. 聖体奉仕者についての検討

6月・7月の委員会で検討しており、現在は次の事項を確認しながら進めております。

- ① なぜ、聖体奉仕者が必要か、鈴木主任司祭による指導が行われる。
 - i. 6/18「キリストの聖体(祭日)」説教時にお話
 - ii. 詳細を「広報なかわだ」に掲載(準備中)
 - ② 聖体奉仕者を公募する。
 - i. 聖体奉仕者数: 5~6名
 - ii. 任期: 一年
 - iii. 研修: 横浜教区の研修を受けていただく。
 - iv. 立候補: 教会役員等未経験者が望ましい。
- などです。聖体奉仕者を公募いたしますので、大勢の立候補をお願いいたします。

III. 月定献金についての検討

横浜教区でも「問題にしております」が、中和田教会の諸献金は、信徒の年齢層別に大きな差があるようです。平成17年度の献金実績をしてみると、(計算にあたっては「月定献金」・「建設献金」・「愛の献金」の内一項目でも献金されていれば、納入者として算出しました。)

- 1950年(満56歳)以上の方
信徒数132名 献金納入者75名 献金率56.8%
*世帯数で見ると
信徒数102世帯 献金納入者75名 献金率73.5%
- 1951年(満55歳)から1980年(満26歳)の方
信徒数163名 献金納入者21名 献金率12.9%
*世帯数で見ると
信徒数142世帯 献金納入者21名 献金率14.8%
でした。

この現実をどう見るか、「プロジェクトチーム」を立ち上げ検討してみることにしました。具体的には

- ① 中和田教会は、従来から「所帯を持ったら、献金」をお願いしてきた。その「お願いのしかた」はどうだったのか。
- ② 平成17年度の献金を見て、信徒間に不公平はないのか。(年金生活者の献金と、健常者の献金等)
- ③ I項の営繕関係で大幅な建設資金が必要となった場合、借入金の返済が難しい。
- ④ 実態調査後、信徒の皆様への理解活動をどうするか。などを、今年度中に「皆様にお願ひしたい」と思っております。



ヨゼフ会だより

< 7月15日(日) 10名出席 >

■ 連絡/報告事項: 省略

■ 審議事項:

- ◆ 8/26に行う黙想会の段取りを、下村さんに準備頂いた試案をベースに審議した。
- ◆ 分担(暫定)は次のとおり(敬省略)。
 - * ミサ: 先唱(清水)、侍者(下村)、朗読(小野寺)、詩篇(小谷)、共同祈願(東原、竹内、上野)、オルガン(美底)
 - * 献金/箱準備等(鶴田)
 - * 分ち合い: コーヒー(小谷)、他飲み物、茶菓子(小野)、司会(小野)
 - * 最後の片付け、安全確認の責任者(小野)

■ 庭の手入れ:

- ◆ 9月にずらす案もあったが、9月も行事が立込んでおり、結果として8月12日(土)午前9時-10時に行うことに決定。

■ 当番表確認



広報 なかわだ

第326号

8・9月の予定

委員会・ヨゼフ会	8月はお休み
聖母の被昇天ミサ	8月13日
敬老のお祝い	9月18日



2006年 8月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成18年8月13日

ティツィアーノの 聖母被昇天



最近思い巡らしたこと、東洋のこころと十字架

助任司祭 渡邊 裕成



道元禅師が残された「正法眼蔵」というのがあります。以前その原文を手にして読んで、よく分からないでいました。最近その現代語訳を手に入れ、現代語訳と原文とを読み比べながら読むと、結構腹に落ちてきて、読み進められます。幾つかのところが、心に響いてきました。その中のひとつにこういうのがあります。

あるとき、寺の堂にかけてあった鈴が風に吹かれて鳴るのを聞いて、師が弟子に問う。

「風が鳴っていると思うか。鈴が鳴っていると思うか。」

「風が鳴っているのでも、鈴が鳴っているのでもありません。わが心が鳴っているのです。」

「わが心が鳴っているとは、どういうことか。」

「ともに寂靜だということです。」

「よし、よし。」

教会には、いろんな方がいらしては、いろんなことが起こります。いろんなことが起こっては、心が波立ってきますが、それは「風が鳴っているのでも、鈴が鳴っているのでもなく、心が鳴っている」のだと。そのことは、確かにその通りだと、腹に落ちてきます。しかし、「ともに寂靜」というところが、それはそういう世界があるということは分かりますが、私はまだまだそういう心境には至っていないなと思えました。「ともに寂靜」という世界にもっとしっかり根付いてゆかなくてはと思います。

先日、禅の老師のところへ行きました。話し合いのときがあり、こんな風に思ったことが思い出され、お話ししました。すると、老師はこう答えました。

それは、目の付け所はよい。しかし、私が見ると、私の観点というのが残っている。私も相手もない、すべての隔てのないところへ行かなくては。

そう話されてから、老師の体験からの隔てのない世界のお話をしてくださいました。

その後、またちょっと、この話を思い巡らしました。

「私というものをつかまず、すべての隔てのない世界を生きる。」

「すべての隔てのない世界を生きる」と言ったとき、私がまず思うのは、キリストの十字架がすべての隔てを取り除いてくださったこと。すべての隔てを取り除き、すべてをひとつに集めてくださったこと。そして、私たちも、キリストの十字架に与るようと、日々招かれていることです。思い巡らしながら、「つかまず手放してゆく」というあり方と「十字架に与る」という生き方とが、「隔てのない世界を生きる」ことへと向かうことの中にひとつに重なり合うこととして心に落ちてきました。またさらに思うには、キリストの十字架という出来事は私たちに究極の現実として与えられているということです。私たちがキリストの十字架に心を向けたとき、十字架にはあらゆる霊性を、より根源的なものへと根付かせてゆく力があるように私は思います。

日々、十字架の霊性を深めつつ、あらゆる隔てのない世界へと歩みゆくことができますように、願います。

夏が来れば思い出す

小谷 徳爾



中田先生作曲の・・・「尾瀬」・・・。名曲です。

私に“こんなこと”がありました。

カトリック中和田教会へ入ると、美しい庭の右側に「夾竹桃(きょうちくとう)」の立派な常緑樹カン木があります。毎年「夏が来たよ」と告げる真っ白い花をつけます。

小学校4年生のとき、三井倉庫に勤める父の転勤で、大森入新井第一小学校から大阪の常磐(ときわ)小学校へ転校しました。みんな温かく迎えてくれました。江戸っ子の私は、「なんて大阪の人はこんな親切なのか」と思いました。担任の塔本多喜四先生の話される“大阪弁”・・・、入新井の担任の栗原三郎先生の“東京弁”・・・、その違いに戸惑いました。「蓮」・・・これを「ハス」が「レンコン」と・・・。

5年生、6年生と仲よしがどんどん出来、いよいよ中学受験。平気で仲間は勉強しているのか・・・? 「難関校を受ける」と簡単に言います。私も大阪府立天王寺中学(今の天高。特に北野、住吉と並び称される・・・)を受けたいと両親に申しました。母が早速小学校を訪ねてくれました。担任の塔本先生が小谷の実力では無理だが、そんなに迄本人が希っているなら、先生の弟さん、片田哲をつけてあげよう」と言ってくださった。片田先生のこわいこと・・・。きびしいこと・・・。徹底して「数学だけ特訓」。他科目は無視・・・。先生の申される信条は、「数学をとことんこなせば、どんな人も、頭に分析、解析の力が育って、苦もなく解ける」と申される。

大阪の家は、今は知りませんが、立派な長屋方式で何軒もつながり、(今この年で、小谷はマンションを横にしたようだと感じました。)名称を「三松園」と言いました。大きな広場があり、ここが共同の庭で、周囲は夾竹桃が涼しい木陰をなしており、自然と大人の人達、子供達も仲よしになれる社交場のような場です。小谷の家は、その「広場の真ん前」でした。二階の廊下で片田先生と向かい合い・・・、毎日因数分解・・・代数・・・。出来ないと「三角定規の平たいところ」で「ぶんなぐられ」、「檄」をとばされるのです。広場では楽しく遊ぶ子供たち。きれいな夾竹桃の花が目に入る・・・。

いよいよ入学試験。「自信をもってやってこい!」との片田先生のお言葉をしっかり心に・・・。試験用紙が配られました・・・。「あっ!」、数学5問中4問は片田先生に徹底して教えていただいた似た問題・・・。考えさせられた残りの一問も難なく解けて・・・満点の自信。

発表の日の巻紙・・・『188番合格』。一緒に行ってくれた父の横顔に水が・・・。小谷は子供心に思わず・・・「今まで全然教えられたことのない」・・・《合掌》。今、毎週お恵みいただく「主日のミサ」で・・・、かわいいお子達・・・、信者のお子達の「合掌」の姿を拝見・・・、互いに「平和の握手」・・・。「只只・・・思い出す感謝は恩師、両先生のこと」。今も続く親しい親しい「三松園」の広場の友、そして家族です。

医博、教授、船長、「夾竹桃」。

『ひとこと!』カトリック中和田教会のお子達、「文系」「理系」に拘わらず、「数学」を『柱』に、「塾の総花式」でなく、自信をもって日々努力してください。



渡邊神父 《聖書を分かち合う集い》へのお誘い

毎週水曜日、朝10時から11時30分まで、渡邊神父様を囲んで、《聖書を分かち合う集い》がもたれています。

次の主日の「聖書と典礼」を用いて、まず、詩編をみんなで歌い、次いで、全文を順番に一節ずつ声に出して読みます。それから、各自心にひびいた一節を自由に述べ、そこを選んだわけをみんなで分かち合います。聖霊のあふれの中で語られる一人ひとりの言葉を、みんなは、ただひたすら耳を傾けて聴きます。自分の思いは入れずに、話す人を全面的に受容します。それは、いま、ここで、その人に働きかけておられる神様のみ心を信じるところから始まります。

最後に福音書を読んで自由な分かち合いをします。この時は、質問や、み言葉をとおして感じたことなど自由に話し合います。時には話題が信仰生活、家庭問題、社会問題などにまで発展することがありますが、キリストの光に照らされたものの見方を学ぶよい機会となっています。

最初は自分の心を“分かち合う”ということに抵抗感をもつ方もあるかもしれませんが、集いの中にはいつもイエスさまがおられ、私たちを信頼の絆で結びつけてくださることを信じています。

継続的な勉強会ではありませんので、行ってみたいと心が動いたときには、どうぞ足を運んでみてください。交わりを通して、神様がいかに一人ひとりの心に寄り添って豊かに働きかけ、語りかけておられるかを実感することができるでしょう。

参加された方々の中から、何人かの感想を、ここに紹介させていただきます。

- * 「神は私を生き返らせ、いつくしみによって正しい道に導かれる」・・・この詩編の言葉が私を元気にし、自信をもたせてくれました。
- * 日曜日のミサで聞く福音書や詩編の内容について、参加者のいろいろな考え方を伺うことができ、理解が深まり、心の糧が豊かになる気がします。
- * ‘話す’、‘聴く’の相互の作業により、それぞれの心に言葉が届くとき、理解し、信頼へと落ち着くように感じます(・・・たとえ異見であっても・・・)。「みことば」というかけがえのないテーマのもとに、より多くの方々と交わりを望みます。
- * 詩編や福音の分かち合いをとおして、いろいろな方の考え方、角度を変えてとらえること、「ああそのような見方もある。考え方もある」など、大変よい勉強をさせていただいております。多くの方が参加されるともっと豊かなものになると思います。



八乙女 すみ枝さん作

委員会だより

< 7月9日(日) 10名出席 >

■ 連絡事項 行事計画:

- ① 8月13日(日) 聖母の被昇天ミサ
- ② 9月17日(日) 敬老のお祝い

■ 審議事項

聖体奉仕者: 広報に掲載して、皆さんに呼びかけていく。

■ 各グループ報告

1. 典礼G(布教G): 7/30日曜日にグループ全員のミーティングを行い、8-10月の活動について打合せ。

2. 行事G:

- (1) バザー委員会報告
 - ✦ 次回バザー委員会: 8/20。(バザー自体は10/29)
 - ✦ メニューは昨年とだいたい同じ。
 - ✦ 景品が集まらないので、広報で呼びかける。



(2) 敬老会は担当グループにお任せする。

✦ 当年75歳になった方にお祝い品を進呈。

3. 広報G: 各G活動を定期的に報告して頂き、広報に掲載する →委員会了承

4. 財務G:

財務進捗報告 半年経過して月定献金納入は対予算46%、収入では対予算66%の実績。
註: 繰越金が多いため、収入実績が良く見えている。

5. 要理G:

(1) 一粒会と神学生と第5地区子どもたちの交流会(8/6 於中和田教会):

✦ 7/8に大船教会で打合せ、役割分担、テーマ、ミサ後のイベントなど骨格を決めた。

✦ 参加は35、6名で少ないのでもっと募集していく。最終的には40名前後を想定。

✦ 各自ビニール袋と上履きを持参頂くことを依頼済。
✦ 各教会に対して段ボール箱を用意しておく。

募集

神に愛されている自分に気づく旅

キリスト教講座のご案内

よりよい人生に、より深い人生の意味に出会うために、一緒に答えを見つける旅をしませんか?

【対象】 イエス・キリストの生き方に関心のある方。

信者の方も求道者の方もどうぞ。

お知り合いにもお勧めください。

【日程】 9月9日から一年間の予定

月2回(第2,4土曜日)10時~12時

【会場】 新集会室

【全体の構成】

I期 自分らしく生きる

II期 キリストと共に生きる

III期 秘跡を生きる

【申し込み・問い合わせ】

高野神父 または 世話人・岩崎

